

# 発掘新聞

6月5日号

平成25年第3号

編集・発行

九州歴史資料館

電話 0942-75-9575

## みやこ町伊良原ダム建設に

## 伴う試掘調査、強化月間！

バックホー（重機）によりダムで水没する地点を試掘し、遺跡の有無を判断する、福岡県教育庁文化財保護課大庭主任技師。

# いつ試掘調査やるか？

# 今でしょ！



建設中の伊良原ダムの様子

伊良原（いらはら）ダムは、福岡・大分県境の英彦山付近を源流とし、周防灘に注ぐ祇川（はらいがわ）の上流、京都郡みやこ町犀川伊良原に、福岡県が建設している多目的ダムである。

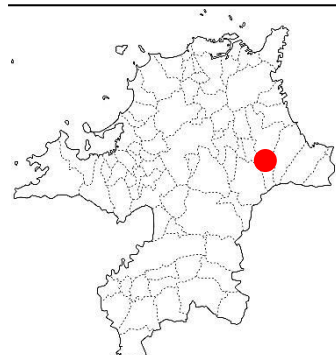
ダムが完成すると、遺跡も水没するため、ダムが満水となる高さより下に位置する遺跡は発掘調査が必要となる。

当館及び福岡県教育庁文化財保護課では、伊良原ダム建設に係る発掘調査を平成19年から開始し、これまで縄文時代と中世を中心とする遺跡の調査を行ってきた。現在は、先日本紙でも伝えたように縄文時代と中近世を中心とする、3遺跡の調査を行っている。

一般的に遺跡は地下にあるため、どこにどのような遺跡があるか分かっていない場合が多い。そのため事前に開発範囲の一部に試し掘り（試掘調査）を行い、そこで出てきた土の状況や遺構などにより、遺跡の有無や内容を確認することとなる。



試掘調査では土の色や硬さ、堆積状況などから、遺跡の状況について判断する。



建設中の伊良原ダムの位置

査（記録保存という）にかかる費用を見積もる基準にもなる重要な作業だ。ダムの場合、水没する地域が非常に広いため、試掘面積も大きく、大変な作業である。

試掘調査で遺跡が確認された場合、「ダム工事」と「遺跡の保存や発掘調査」を互いに円滑にすすめるための話し合いが必要となる。そのため、試掘調査を計画的に実施しており、今月は、現在試掘調査が可能な地点を集中的に実施することとなっている。

現在、福岡県教育庁文化財保護課と当館で試掘調査に励んでおり、重要な成果が出た暁には、この紙面で速報する予定である。乞うご期待。

（大庭孝夫特派員）